

2010年5月20日

各位

会社名 マックスバリュ東北株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮地邦明
 (コード番号 2655 東証第2部)
 問合せ先 総合企画室 佐藤昭一
 (電話 018-847-2792)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主(親会社等を除く。)又はその他の関係会社の商号等 (2010年2月20日現在)

| 商号、名称又は氏名 | 属性 | 議決権所有割合 (%) | | | 発行する株式が上場されている金融商品取引所等 |
|-----------|-----|-------------|-------|-------|------------------------|
| | | 直接所有分 | 合算対象分 | 計 | |
| イオン株式会社 | 親会社 | 67.36 | 1.70 | 69.06 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部 |

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社は、イオン株式会社(純粋持株会社)および、同社の168社の連結子会社、27社の持分法適用関連会社により構成する企業グループに属しております。

当社取締役会において、親会社及びそのグループ企業の役員を兼務する取締役は過半数には至っておらず、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。

イオン株式会社が、グループ戦略の立案、グループ経営資源の最適配分、経営理念・基本原則の浸透と統制、共通サービスの提供などを担い、グループシナジーの最大化をはかる一方で、当社を含めた各事業会社は、専門性を高め、地域に密着した経営を行うことで、より一層のお客さま満足の向上をはかっております。

当社の属する企業グループは、5兆円を超える売上規模を活かし、グループでの共同調達や効率的なサプライチェーンの構築に取り組み、コスト低減を進め、プライベートブランド商品「トップバリュ」の開発や、メーカーや国内外の産地との直取引を拡大し、お客さまにとって価値ある商品の開発と魅力的な価格の実現に努めております。

当社は、日常の事業運営にあたっては、独自の経営判断に基づき遂行しつつ、事業運営における重要な問題については、親会社との協議、もしくは親会社への報告を行っております。親会社及びそのグループ企業とは、相互に自主・独立性を十分に尊重しつつ綿密な連携を保ちながら、持続的な成長、発展、業績の向上に努めております。

また、当社取締役7名、監査役4名のうち5名が親会社等で兼務しております。

(役員(の兼務状況))

(2010年5月20日現在)

| 役職 | 氏名 | 親会社等又はそのグループ企業の役職 | 就任理由 |
|-------|------|---|-------------------|
| 取締役 | 豊田靖彦 | イオン株式会社SM事業戦略チームリーダー 株式会社マルエツ監査役 マックスバリュ東海株式会社監査役 | 経営執行機能充実のため当社より依頼 |
| 常勤監査役 | 中村和彦 | マックスバリュ北海道株式会社監査役 | 監査機能充実のため当社より依頼 |
| 監査役 | 鈴木 仁 | リフォームスタジオ株式会社監査役 | 監査機能充実のため当社より依頼 |
| 監査役 | 井上紀一 | イオン株式会社経営管理部 イオンシネマズ株式会社監査役 株式会社イオンビズティー監査役 株式会社ジーフット監査役 株式会社デジタルダイレクト監査役 | 監査機能充実のため当社より依頼 |
| 監査役 | 竹越 彰 | マックスバリュ中部株式会社常勤監査役 | 監査機能充実のため当社より依頼 |

3. 支配株主等との取引に関する事項

2010年2月期決算短信(2010年4月6日発表)記載の「関連当事者との取引」をご参照ください。

以上